

令和元年度 7 月定例記者会見 次第

日時：7 月 25 日（木）13 時 30 分～

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞、糸島新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞
NHK福岡放送局

〔糸島市〕市長、副市長、教育長
関係部課（議会事務局）議事課、（企画部）地域振興課、
（健康増進部）介護・高齢者支援課
（産業振興部）農業振興課

1 市長あいさつ

2 8月のイベント イベント情報

3 案件

（1）糸島市議会だよりの別冊化について

（議事課） 資料 1

（2）多文化共生推進計画審議会委員を募集

（地域振興課） 資料 2

（3）第3回糸島市・九州大学・住友理工3者協定成果報告会について

（介護・高齢者支援課） 資料 3

（4）「伊都キャンパス農場フォーラム」を開催

（農業振興課） 資料 4

4 市長短信 短信資料

5 懇談・その他

次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：8 月 26 日（月）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

糸島市議会だよりの別冊化について

【概要】

糸島市議会では、より親しみやすい議会情報を市民の皆様へ発信することを目的に、これまで、市広報紙に掲載していましたが議会だよりを別冊化して発行することとしました。

別冊化にあたり、掲載量の増加、市民の皆さまが分かりやすく読みやすい紙面とするため、表紙の写真や特集記事等の掲載を行います。

【変更のポイント】

- 発行形態をタブロイド判にすることで市の広報と差別化
- 表紙の写真や特集記事の掲載（市民の登場機会の増加）
- 議会や委員会活動等の継続的な紹介
- デザイン等の工夫、議員の顔写真の掲載

【発行形態】

タブロイド判（新聞形式）
ページ数：8ページ（両面）

【発行時期】

年4回発行
5月15日（3月議会）
8月15日（6月議会）
11月15日（9月議会）
2月15日（12月議会）

【配布】

行政区長を通じて全世界帯へ配布

【配布開始】

令和元年8月15日から



【問い合わせ】

糸島市議会事務局 議事課
担当：黒岩・友岡（内線2212）
TEL：332-2082（直通）

多文化共生推進計画審議会委員を募集

概要

現在、本市に住む外国人の数は、全体の1%を占めており、九州大学留学生の増加、市内企業の外国人労働者の雇用拡大、市内日本語学校留学生の増加などにより、今後も増加すると予測されます。

これは、国籍や民族などの違いに関わらず、多様な文化や習慣を持つ市民が、互いの多様性を尊重し合い、地域社会を構成する生活者として地域社会に参画し、共に安心して暮らせる多文化共生の仕組みが不可欠です。

そこで、外国人市民に対し、総合的な支援を行い、地域社会への参画を促す仕組みづくりを目的に、国際交流基本計画を発展させた、『多文化共生推進計画』の策定に着手します。

これに伴い、同計画策定に関する審議会の委員を下記のとおり募集します。

審議会の役割

計画に関する事項についての必要な調査および審議

募集内容

- ・募集人数：3人
- ・任期：委嘱の日から令和3年3月31日まで
- ・応募資格：市内に在住または勤務する18歳以上の人（平成31年4月1日現在）
 - ：委員に就任したときに、市が委嘱する審議会などの委員の数が3つ以内の人
 - ：平日の昼間に開催する会議に出席できる人
- ・報酬：会議1回の出席につき6,900円程度
- ・応募方法：応募用紙に必要事項を記入し、郵送またはメールで提出（800～1200字程度の作文あり）
- ・応募期間：令和元年8月1日（木）から8月23日（金）まで

今後のスケジュール

別紙、「2019年度多文化共生推進計画策定スケジュール」参照

【問い合わせ先】

企画部 地域振興課 市民協働係

担当：福田、一ノ瀬

TEL：直通：332-2062 内線：1321

メール：chiikishinko@city.itoshima.lg.jp

2019年度 多文化共生推進計画策定スケジュール

番号	項目	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3			備考
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
1	アンケート調査							●	→	→	→	●	→	→	●	→	→																			【日本人市民】 無作為18歳以上:1,500人 【外国人市民】 外国籍市民の50%程度 依頼先)九大、日本語学校、企業、協会等 作成言語) 英語、韓国語、中国語、やさしい日本語版、ベトナム語		
2	庁内ワーキング会議							●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→							【ワーキングの内容】 ・第1回:庁内課題洗い出し依頼 ・第2回:計画素案検討(総則部分) ・第3回:アンケート結果分析 ・第4回:審議会を受けて ・第5回:審議会を受けて 調査内容・計画修正等をフィードバックし、審議会に諮る。				
3	審議会											●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→	【審議会の内容】 ・第1回:計画素案検討 ・第2回:計画素案+アンケート結果 ・第3回:計画素案検討 ・第4回:計画素案確定 ・第5回:必要に応じ開催		
4	議会・区長会報告																											●	→	●	→							
5	パブリックコメント																															→	→	→	→	→	→	【パブコメ方法】 ・市HP ・校区公民館 etc
6	計画策定																																					ワーキング、審議会からの意見を踏まえ修正していく。 3月末完了

糸島市多文化共生推進計画策定方針

1 計画策定の趣旨

本市では、平成23年3月に「糸島市国際交流基本計画」を策定し、文化や風習の違いで慣れない暮らしをしている外国人市民に対する日本人市民との交流や生活環境の整備に取り組んできました。

現在、本市に住む外国人（以下「外国人市民」という。）の数は、九州大学伊都キャンパスが開校した平成17年(2005年)頃から増加し、現在（平成30年10月末）、外国人登録者数は1,000人を超え、本市の人口の約1%を占めています。

今後も九州大学の統合移転完了に伴う伊都キャンパスに所属する留学生数の増加、市内企業の外国人労働者の雇用拡大、市内日本語学校に通う留学生の増加などの要因により、**外国人市民の数は今後とも増加すると予測**されます。

このような中、地域では外国人市民の定住が進み、多くの外国人市民が地域の一員となっていますが、日本人との言葉や文化、生活習慣の違いにより、**お互いをよく理解できていないこと**などから、**両者間で日常生活が円滑に営まれない等の問題が少なからず発生**しています。

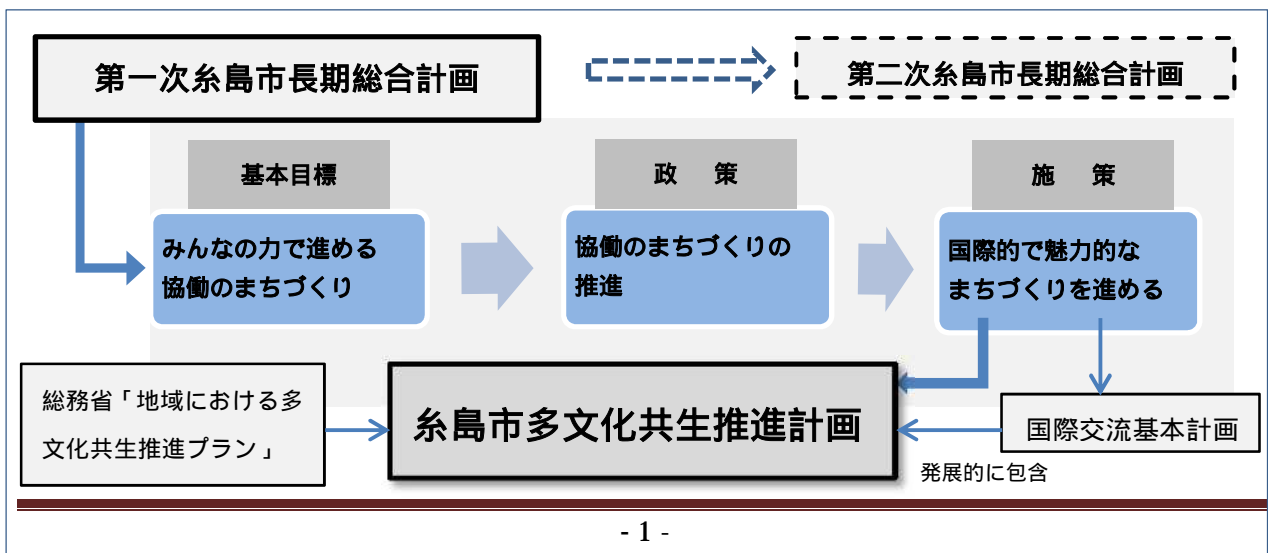
そのような問題を解決するためには、国籍や文化、生活習慣などの違いにかかわらず、『地域に住む人は誰もが市民であり、日本人市民と外国人市民は地域社会を支えていくパートナーである』との認識を深め、**互いを認め合い、自分の能力を生かして暮らせる心豊かな地域社会の実現に向けた取り組みを行う必要がある**と考えられます。

そのため、外国人市民への総合的な支援を行い、地域社会への参画を促す仕組みを構築するという観点から、**国際交流基本計画をより実行性の高いものに発展させた『多文化共生推進計画』の策定**に取り組みます。

2 計画の位置づけ

本指針は、「第1次糸島市長期総合計画」を上位計画とする個別計画であり、平成18年(2006年)3月に総務省が示した「地域における多文化共生推進プランについて」の方向性を踏まえて策定するものです。

また、国際交流基本計画に掲げる「国際的な魅力あるまちづくりの推進」施策における目標像の実現のための取り組み方針を体系的に示すものとなります。



糸島市多文化共生推進計画策定方針

3 計画の構成・期間

計画の期間は、早急に多文化共生の仕組みづくりが必要なため、平成32年度(2020年度)から平成37年度(2025年度)までの6年間とします。ただし、社会環境の変化などに応じて見直しを行います。

推進計画(6年間:2020年度~2025年度)

市の外国人市民の現状、計画策定の必要性を示した上で、基本理念を掲げ、基本目標と、それを実現させるための基本政策などを明らかにします。また、基本施策を達成するためアクションプランを策定し、事業の内容、手法などを定めます。

長期総合計画(5年間:2021年度~2025年度)

推進計画を長期総合計画に反映させ、計画の更なる推進を図ります。

H32(2020)	H33(2021)	H34(2022)	H35(2023)	H36(2024)	H37(2025)
多文化共生推進計画:計画期間6年(2020~2025)					
第一次後期計画	第二次長期総合計画前期基本計画:計画期間5年(2021~2025)				

4 計画の基本コンセプト

基本理念

国籍や民族などの違いにかかわらず、多様な文化や習慣を持つ市民が、互いの多様性を尊重し合い、地域社会を構成する生活者として地域社会に参画し、誰もが地域への愛着と夢を持って、共に安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを行うため、次の5つの基本目標を設定し、計画を策定していきます。

基本目標1 ことばと情報 — どこでも誰にでも情報が届くまちづくり —

地域社会において安心して共に暮らしていくうえで、言語や生活に必要な情報を理解することが求められることから、日本語の学習機会を広げるとともに、やさしい日本語表記によるユニバーサルデザインの導入など、多様な言語に対応した情報の提供を進めます。

基本目標2 安全と安心 - 誰もがふるさとと思えるまちづくり -

外国人市民が個性や能力を十分発揮し、安心して安全な暮らしを送れるよう、生活基盤や健康、防災面の整備充実、子どもたちのための教育・保育、子育て環境等の充実を図り、誰もが糸島市に住み続けたいと思うようなまちづくりをめざします。

糸島市多文化共生推進計画策定方針

基本目標3 参画と交流 - 交流と活躍のフィールドづくり -

外国人市民と日本人市民が知り合う機会の創出を進め、国籍や民族などの違いにかかわらず、互いの人権を尊重し合い、交流と連携を深めながら地域社会の一員として主体的に参画し、まちづくりのパートナーとして知識や能力が発揮できる地域づくりを進めます。

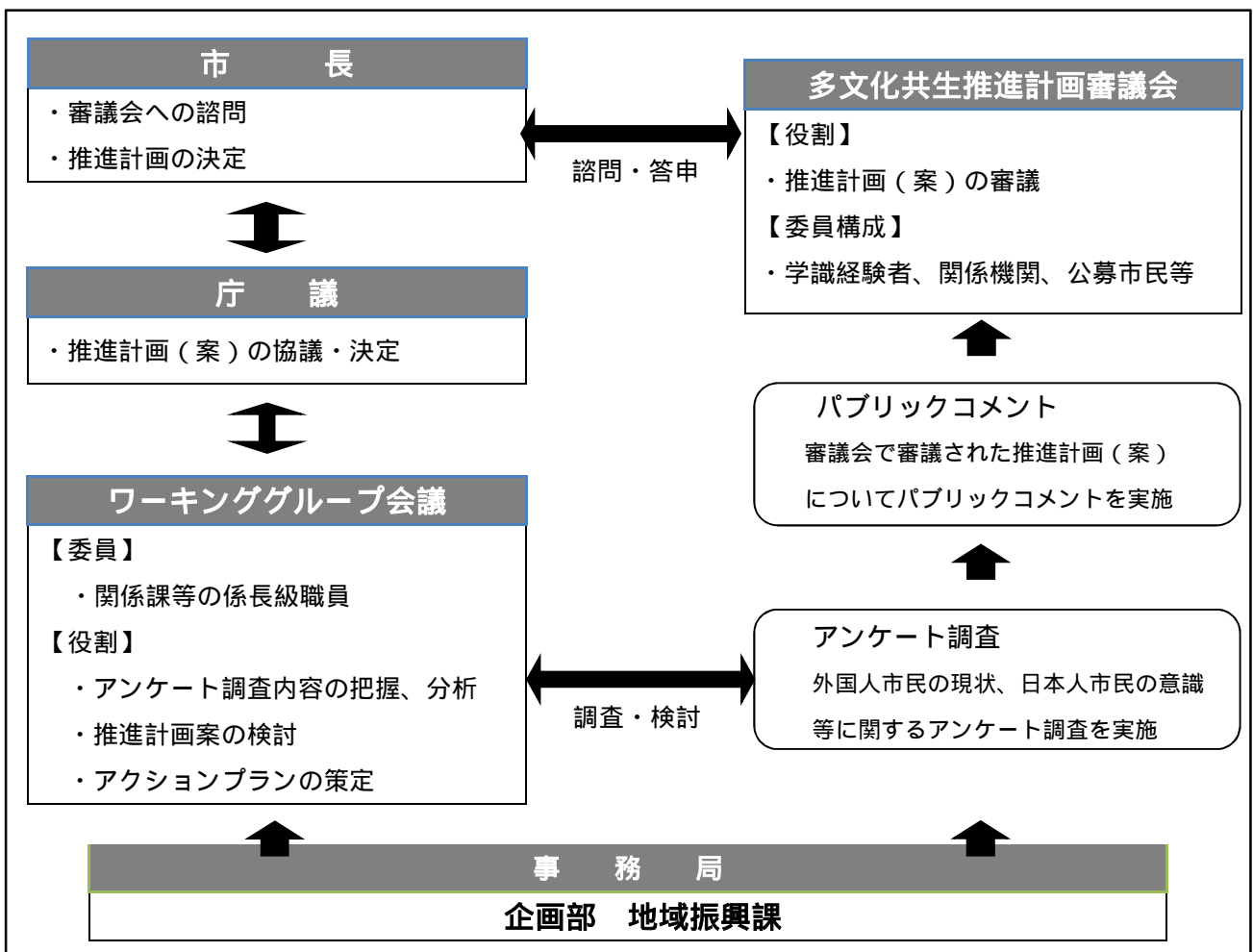
基本目標4 ひとの国際化 - 違いや共通点を学び合うグローバル市民の育成 -

お互いの違いだけでなく共通点にも気づき、自ら進んで学習して新しい文化を生み出していけるよう、子どもから大人まですべての市民が多文化への理解を深め、新しい市民文化の創造に貢献できる国際感覚豊かな市民の育成に努めます。

基本目標5 まちの国際化 - 糸島市ならではのネットワークの構築 -

地域性を生かし、糸島市ならではの市民の共生社会の実現をめざし、市民や市民団体、企業、国、県、他市町などの関係機関と連携を図りながら、国際化に対応したまちづくりを推進します。

5 計画策定体制



第3回「健康」「医療」「介護」事業に関する 3者協定成果報告会の開催について (糸島市・九州大学・住友理工 連携の成果を報告)

平成31年4月、糸島市・九州大学・住友理工は、第2期連携協定を締結し、さらなる発展を目指しています。

また、糸島市と九州大学は平成29年度より、フレイル予防に関する共同研究を進めており、市はその研究成果を生かしたフレイル予防事業の構築を進めています。

これまでの活動実績と今後の活動について、3者から報告する成果報告会を開催しますので、ぜひお越しください。

【成果報告会概要】

日時：令和元年8月23日（金）13時30分～15時30分

場所：糸島市健康福祉センターふれあい 1階 健診研修室
(糸島市志摩初1番地)

定員：120名

内容：3者から事業報告

「産学官民連携ヘルスケア開発について」

九州大学 工学研究院 教授 山本元司

「糸島フレイル疫学研究について」

九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター 教授 熊谷秋三

・平成30年度・運動指導介入研究について

九州大学 基幹教育院 准教授 岸本裕歩

「九大・成功大(台湾)・糸島市民合同ワークショップについて」

九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授 田村良一

参加費：無料（事前申し込み不要）

出席予定：糸島市長 月形祐二

九州大学理事・副学長 若山正人

住友理工株式会社 特別顧問 西村義明

活動報告に係る問い合わせ：ふれあいラボ 092-327-8181

フレイルとは

加齢により心と身体の活力が低下した状態をいいます。しかし、適切に介入・支援を行うことで生活機能の維持向上が可能な状態でもあります。多くがフレイルを経て要介護状態へ進むと考えられていますので、フレイルを早期発見し、適切に介入することが重要になってきます。

【問い合わせ先】

糸島市 健康増進部 介護・高齢者支援課（担当：木村・島田）

電話 092-323-1111（代） 092-332-2070（直通）

内線 1561

第3回 糸島市・九州大学・住友理工 3者協定

成果報告会

～糸島モデルのフレイル予防事業の構築をめざして～

日時

令和元年 8月23日 金

13:30～15:30 (開場13:00)

会場

健康福祉センター ふれあい

1階 健診・研修室

福岡県糸島市志摩初1番地

定員

120名 (先着順)

参加
無料



◆プログラム◆

- 13:00 開場・受付開始
- 13:30 開会
- 13:30 3者代表者挨拶
- 13:45 3者からの事業報告
- 14:15 産学官民連携ヘルスケア開発について / 山本元司 教授
- 14:30 糸島フレイル疫学研究について / 熊谷秋三 教授
平成30年度 運動指導介入研究について / 岸本裕歩 准教授
- 15:00 九州大学・成功大学(台湾)・糸島市民合同ワークショップについて
/ 田村良一 准教授
- 15:15 質疑
- 15:30 閉会挨拶

アクセス

【公共機関ご利用の場合】

☐博多・天神より 昭和バス 「いと・しま号」

博多バスターミナル	11:18	12:38
天神3丁目	11:32	12:52
初	12:20	13:40

初	15:30	16:30
天神4丁目	16:16	17:16
博多バスターミナル	16:28	17:28

☐JR筑肥線 筑前前原駅より 糸島市コミュニティバス<初深江線>

前原駅北口	12:19
交流プラザ志摩館前	12:34

交流プラザ志摩館前	15:40
前原駅北口	15:55

☐JR筑肥線 筑前前原駅より 昭和バス<船越線>

前原駅北口	13:07
初	13:24

初	15:44
前原駅北口	16:02

【車でお越しの場合】

<福岡方面より>

福岡都市高速環状線福岡JCT→福岡前原道路 前原ICで降りる。

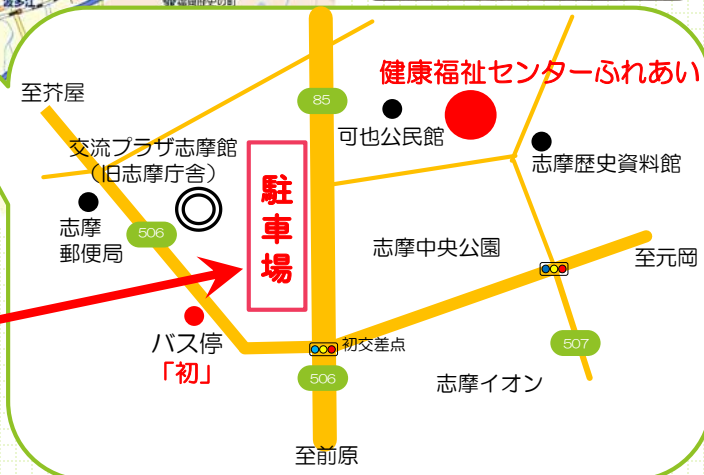
県道12号線と県道506号線を進み糸島市交流プラザ志摩館（旧糸島市役所志摩庁舎）方面へ約10分。

<唐津方面より>

国道202号線西町交差点を左折、糸島市交流プラザ志摩館（旧糸島市役所志摩庁舎）方面へ約10分。



※駐車場は
交流プラザ志摩館駐車場
 をご利用ください。
可也公民館駐車場は駐車できません。



九州大学大学院農学研究院 「伊都キャンパス農場フォーラム」を開催

九州大学農学部では、昨年9月に農学系キャンパスの伊都キャンパスへの移転が完了し、来年附属農場が移転することを記念して、別紙のとおり「伊都キャンパス農場フォーラム」を開催します。

【開催日時】令和元年8月8日(木)13:30(受付13:00~)

【開催場所】九州大学伊都キャンパス ウエスト5号館

【定員】200人：参加費無料、事前申込み有り(8月5まで)

特別講演

『オンキャンパス農場で実現する未来志向の農業教育・研究の展望』

講師 国立大学法人九州大学農学部 附属農場長 望月 俊宏

附属農場長の専門分野は、作物学及び農業生産生態学。土地利用型作物の安定的かつ持続的栽培を可能にする諸要因について研究を行なっている。未来志向の農業教育・研究について語っていただきます。

パネルディスカッション

富士通(株)、農林中央金庫、(公財)九州経済調査協会、農業者、九州大学教授、アグリコラボいとしま会長によるパネルディスカッションを行っていただきます。

ポスタープレゼンテーション

応募による九大シーズ、企業、研究機関等のポスターの展示及びプレゼンテーションを行います。

交流会

伊都キャンパス農場に関心のある方たちの情報交換の場としてご活用ください。

共催 国立大学法人九州大学大学院農学研究院

アグリコラボいとしま

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

後援 福岡県、福岡市、糸島市、一般財団法人九州経済連合会、JA福岡市、JA糸島

【問い合わせ先】

産業振興部 農業振興課 農政係 担当：田中 TEL：直通：332-2087 内線：1812

九州大学 農業生産システム設計学研究室 担当：岡安・日浅 TEL：802-4630

九州大学大学院農学研究院 伊都キャンパス農場フォーラム

～地域・アジアに開かれた未来志向のオンキャンパス農場を共創する～

日時

2019年8月8日(木) 13:30～

受付開始 13:00

定員200名
参加費無料

場所

九州大学伊都キャンパス

福岡市西区元岡744

昨年9月、伊都キャンパスへの農学系キャンパスの移転が完了し、新たな土地での教育・研究が始まり、来年度には日本最大級のオンキャンパス農場が整備されます。

本フォーラムは、伊都キャンパス農場の地域・アジアに開かれた実証ファームとしての機能を紹介し、企業・農業者・関係者の皆さまが、今後の実証研究等に広くご参画いただくことを目的としています。

また、九大の研究シーズや企業の製品紹介などの最新情報をお伝えするポスタープレゼンテーションも併せて開催します。終了後は、交流会も開催しますので、参加者の皆さまの情報交換の場としてご活用ください。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

ウエスト5号館2階大講義室(東棟)

フォーラム

- ◆あいさつ 13:30～13:40 国立大学法人 九州大学大学院 農学研究院長 福田 晋
- ◆特別講演 13:40～14:40 『オンキャンパス農場で実現する未来志向の農業教育・研究の展望』
国立大学法人 九州大学農学部 附属農場長 望月 俊宏
- ◆パネルディスカッション 14:50～16:00
【コーディネーター】九州大学 農学研究院 准教授 岡安 崇史
【パネラー】8名(裏面参照)
- ◆ポスタープレゼンテーション 16:10～17:40 【ウエスト5号館3階講義室(西棟)】 **出展無料**
九大シーズ、企業、研究機関等のポスター展示及びプレゼンテーション
※展示者を募集していますので、希望される場合は、フォーラム参加申込みと併せて申込みください。
- ◆交流会 17:50～18:50 【ウエスト5号館3階講義室(西棟)】 **参加費無料**
軽食・ソフトドリンクを用意しますので、情報交換・名刺交換の場としてご活用ください。

申込方法は裏面

パネルディスカッションパネラー

(順不同)

- ・ 富士通株式会社 産官学連携推進統括部 エキスパート 山崎 富弘 氏
- ・ 農林中央金庫 食農法人営業本部 福岡支店 九州営業統括部長 岩井 誠二 氏
- ・ (公財)九州経済調査協会 事業開発部長兼BIZCOLI館長 岡野 秀之 氏
- ・ 福岡市 生産者 藤野 靖彦 氏(いちご)
- ・ 糸島市 生産者 松崎 治久 氏(水稻、麦等)
- ・ 九州大学大学院農学研究院 教授(農学部附属農場長) 望月 俊宏
- ・ 九州大学大学院農学研究院 環境農学部門 教授 北野 雅治
- ・ アグリコラボいとしま会長 岩城 賞弘

申込方法 8/5(月)まで

メールにて event@bpes.kyushu-u.ac.jp までお申し込みください

〔申込み記載内容〕

1: 件名【伊都キャンパス農場フォーラム申込み】

2: 本文

①会社名or団体名or個人名

②所属・役職・個人名【農業の方は栽培作物も】

③メールアドレス

④電話番号

⑤交流会への参加の有無

★ポスタープレゼンテーション出展希望者の方のみ

ポスタープレゼンテーションへの出展希望と記載してください

A1ポスターの掲示及びブースでプレゼンをしていただく予定です

※詳細については、希望者の方へ折り返しお知らせします

〔問い合わせ先〕

九州大学 農業生産システム設計学研究室 担当: 岡安・日浅

Tel: 092-802-4630

Email: event@bpes.kyushu-u.ac.jp

アクセス

◆空路

福岡空港 →(地下鉄空港線)→「姪浜駅」(JR筑肥線へ乗換)→「九大学研都市駅」
→(昭和バス)→「伊都キャンパス」

※西唐津行き、筑前前原行きに乗車した場合は、姪浜駅での乗り換えは不要
福岡空港 →(地下鉄空港線)→「博多駅」→(西鉄バス)→「伊都キャンパス」

◆JR

「JR博多駅」→(地下鉄空港線)→「姪浜駅」(あとは空路の場合と同じ)

「JR博多駅」→(西鉄バス)→「伊都キャンパス」

◆西鉄

「西鉄福岡駅」→(地下鉄空港線)→「姪浜駅」(あとは空路の場合と同じ)

「西鉄福岡駅」→(西鉄バス)→「伊都キャンパス」

◆高速バス

天神バスセンター→(地下鉄空港線)→「姪浜駅」(あとは空路の場合と同じ)

天神バスセンター→(西鉄バス)→「伊都キャンパス」

☆キャンパスアクセスマップ

http://www.kyushu-u.ac.jp/f/35762/2019ito_2.pdf

【28】ウエスト5号館

車で来場の方へ

ナビ入力【福岡市西区元岡744】
県道577号線「九州大学」信号を左折し、大学構内へ。ゲートがありますので、ゲート手前左手の守衛所にて、本セミナーへの参加を伝えていただければ、入講料は無料。
駐車場は、キャンパスアクセスマップの【28】ウエスト5号館周辺の駐車場をご使用ください。

